

2023NEAR国際フォーラム及び 第14回経済・人文交流分科委員会開催結果

- ❖ 過去最大規模である5か国38広域地方政府代表と16の関係機関など200余名参加
- ❖ 初の地方政府セッションの新設により会員自治体へ広報の機会を提供

I 主要発表内容

専門家セッションの主要発表内容

- **第1発表者： 笵志剛、中国黒竜江省社会科学院北東アジア研究所2級研究員**
 - ・ 現北東アジアにおける情勢を診断し、地域協力を阻害する要因の分析及びこれらを克服できる対策の提示
 - ・ 北東アジアにおける地方政府間の多者間協力の制度化とシンクタンクネットワーク構築の必要性を強調
- **第2発表者： 羽場久美子、世界国際関係学会(ISA)アジア太平洋会長**
 - ・ 日本は著しく少子高齢化早く進んでおり、日本の労働力は40年後現在の半分の水準に減少と予想。したがって、周辺国との協力が非常に重要
 - ・ 米国・欧州の覇権が衰退し、中国・インドの急激な成長により、東アジアが世界平和の発展をリードする役割を果たすことが必要
- **第3発表者： 李赫(イ・ヒョク)、日韓未来フォーラム代表**
 - ・ 米中競争の激化、ウクライナ戦争などにより、日・中・韓・蒙・露間の両者及び多者間関係が過去より更に複合的で不安定な状態
 - ・ このような不安定性を緩和するためには地方政府間の交流協力の活性化が重要であり、特に外交安保的な状況の拘束の弱い非外交安保分野における交流の積極的な推進が必要
- **第4発表者： ジャミヤン・バトゥール、モンゴル国立大学政治国際関係行政大学副教授**
 - ・ 過去数年間、北東アジア国家間の経済交流は活性化された反面、相互間の不信が深まる。北朝鮮の核問題、中国と台湾との問題、ロシア・ウクライナ戦争などがこれを証明

- 北東アジアにおける域内の地方政府と民間次元の協力を強化し、ヨーロッパ地方自治憲章 (Strasbourg 1985) のような憲章の採択を通じ、中央政府間の葛藤を解消する突破口を備える必要がある
- **第5発表者：ルキン・アレクサンドル モスクワ国立国際関係大学東アジア及び上海協力機構研究センター長**
 - ロシアはロシア・ウクライナ戦争以降、西欧国家によるロシアに対する経済制裁のため、アジアの国の中で、特に中国との協力を強化している
 - 今後、中・蒙・露の経済回廊を建設、中・露・北朝鮮の豆満江開発、韓・露の天然ガスのパイプライン及び鉄道建設、日・露の紛争島嶼の共同開発などのプロジェクトを共同で推進可能

専門家セッションの主要ディスカッション内容

- **第1討論者：李瑞峰内モンゴル財経大学主任教授**
 - 2022年度北東アジア国家のGDP規模は全世界の3分の1である30兆ドルに迫る勢い。したがって、同地域における潜在力が非常に大きい
 - 北東アジアの地方政府のレベルで協力を拡大するべきという専門家の発表に同意
- **第2討論者：シン・ボンソプ光云大学国際学部招聘教授(元駐瀋陽総領事)**
 - 中央政府間の協力におけるジレンマの突破口として、地方政府が緩衝の役割を担うべき
 - 地方外交の活性化のための制度的な援助が必要だと述べた筧志剛研究員の発表内容に同意
- **第3討論者：キム・ヒョンス韓国北東アジア学会会長**
 - 地方自治団体も独自の外交路線を整えるべきであり、地方外交の自立性、外交分権を拡大する制度を備える必要がある
 - NEARは地方が主導する国際機構をつくり、安定化をさせる点において大いに貢献している
- **第4討論者：ダンコフ・アルチョム トムスク州立大学教授**
 - 北東アジアの国家は環境問題、持続可能な都市発展、農業などの問題において経験を共有すべき
 - 知識の交流、地域社会における共同問題の解決を目標として共同研究、青年知識交流などは地域発展において長期的な影響を及ぼす

特別講演セッションの主要発表内容

- **第1発表者：キム・キホン韓国青少年政策研究院専任研究員**
 - 韓国は19～34歳の青年を対象に青年の就職先の保障、青年の住居における負担軽減などの内容

を含んだ「青年政策法」の5年ごとの見直しを施行している

- 韓国は中央政府と地方自治団体の両方で、青年の国際平和増進の運動と国際協力の活動機会の保障を法として明示。これに基づき、KOICA海外奉仕団などのような様々な青年国際交流事業を推進中

○ 第2発表者：キム・ホソク韓国環境研究院専任研究員

- アジア太平洋地域は持続可能な発展目標の達成において、ある程度の進展は成し遂げてきたが、全般的な移行の進行は遅れていて、2030目標達成のための必要な中間レベルの移行水準は14.4%のみ達成した状態
- 経済的清浄エネルギーと産業、革新及びインフラ分野において2030目標達成のための注目すべき進展は成し遂げたが、気候変動対応の方面においては退歩していて、同分野の緊急措置が必要

○ 第3発表者：キム・ドンス韓国産業研究員専任研究員

- 保護貿易主義の深化による経済ブロック化時代に入り、北東アジア地域も緊密な経済協力が必要
- 北東アジア地域は短期的には先端産業技術、民間自治体などの分野の協力が必要であり、中長期的ではデジタル経済への転換、炭素中立問題、超高齢化社会による社会問題などに対する共同対応が必要

地方政府セッションの主要発表内容

○ 第1発表者：智勇中国内モンゴル自治区政府研究室副主任

- 内モンゴル自治区は第14回NEAR総会で、NEARエネルギー協力分科委員会のコーディネーターを担当することとなる
- 内モンゴル自治区のメリットを活用し、北東アジア地域における地域の経済活性化と安定的な繁栄に寄与

○ 第2発表者：呂大宇中国吉林省对外友好協会文化交流部部長

- 吉林省は生態資源が豊富であり、中国における工業の揺籃であり、中国における重要な食料の倉庫であり、対北開放において重要な窓口である
- 韓中(長春)国際合作示範区は、良い地理的な位置と事業環境、豊かな科学教育の資源、完備された生産活動及び生活便宜施設、様々な政府の支援政策を整えている
- NEAR会員自治体の起業家による吉林省への投資と起業を希望

○ 第3発表者：刘晓中国甘肅省文化観光処副処長

- 甘肅省は中国シルクロードの黄金区間に位置していて、豊富な文化遺産と美しい自然景観を

保有。NEAR会員自治体の甘粛省への訪問を期待

○ **第4発表者：久保光希富山県生活環境部国際課主事**

- ・ 富山県は中国遼寧省と雲南省、上海、広東省、ロシア沿海地方、韓国江原特別自治道と友好都市である
- ・ 韓国江原特別自治道とは2023年11月2日～4日、江原特別自治道知事の富山県来県時、友好交流協定書を締結、遼寧省とは2024年友好県省締結40周年を迎える

○ **第5発表者：丁海官(チョン・ヘグアン)韓国大邱広域市国際関係大使**

- ・ 大邱広域市の国際機構協力、姉妹友好協力都市、海外事務所、海外相談役、在韓外交公館との協力、国際交流行事、民間団体の公共外交活動支援、地域の外国人定着支援事業、海外SNSチャンネル運営などを紹介

○ **第6発表者：郭台烈(クァク・テヨル)韓国忠清北道国際関係大使**

- ・ 忠清北道は地域内における生活人口の増加及び地域の経済活性化のために「K-留学生制度」を採択
- ・ 「K-留学生制度」とは地域内17の大学の留学生へ時間制の就職先を通じ、学費の支援をするように支援する制度

○ **第7発表者：蔡進源(チェ・ジンウォン)韓国慶尚北道国際関係大使**

- ・ 慶尚北道の大学現況及び地域の大学、企業、地方政府が相互協力するモデル紹介
- ・ 慶尚北道の特性産業である亀尾市の半導体、浦項2次電池、義城郡細胞培養、青松郡抗老化など紹介

○ **第8発表者：チョン・ミョンスク韓国慶尚北道浦項市バッテリー先端産業課課長**

- ・ 浦項市の2次電池の産業動向、特化団地推進経過及び指定現況、2次電池育成計画紹介
- ・ 浦項市の2次電池産業の発展を通じ、良質の就職先を創出、大学の競争力強化、人口流入の増加、地域経済活性化効果期待

○ **第9発表者：姜昊求(カン・ホグ)韓中経済社会研究所所長**

- ・ NEAR会員自治体の中で韓国の自治体の輸出入は海上運送へ絶対的に依存していて(99.7%)、中・蒙・露の自治体の輸出入の貨物運送の経路は国際海運の主要通路に位置せず、海陸複合運送を進めている鉄道路線と完璧に一致
- ・ NEAR会員自治体は優位産業における相互補完、輸出入市場の拡大などを通じて物流協力拡大及び経済協力強化を推進
- ・ また、海陸複合運送における競争力の強化のための会員自治体間の疎通を強化すべき

○ **第10発表者：ダルツラクチャ・アルタンシャガ モンゴル ボルガン県局長**

- ・ ボルガン県は次のような分野においてNEAR会員自治体との交流を希望

- 教育分野：人材育成、教師及び学生交換
- 保健分野：医療チームの交換、経験伝授のための段階的プログラム、技術装備支援
- 観光分野：自然観光、エクストリーム観光、スポーツ観光など特殊的な目的の観光プログラムを共同実施、相互文化広報

- ボルガン県の冬スポーツ祭り(1月)、「シャガエン・トイラム」行事(5月)、ナダム祭り(7月) 馬乳酒及び馬祭り(8月)、「協力するボルガン人たち」懇談会(10月)行事でNEAR会員自治体を招待

○ **第11発表者：ウルジ・ソブタ モンゴル セレンゲ県局長**

- セレンゲ県は韓国の済州特別自治道、ロシアのブリヤート共和国、中国内モンゴル自治区フフホト市、日本静岡県などと協力関係を結んでいる
- セレンゲ県はNEAR会員自治体と農業、環境に優しい食品生産、物流、観光、生態系復元事業、教育などの分野における協力を希望

○ **第12発表者：バシリエバ・スヴェトラナ イルクーツク州経済開発産業部次官**

- イルクーツク州の産業の優位、対外経済活動、投資資源メカニズム、最大投資プロジェクト、観光及びSEZ(特別経済区域)開発、物流などの現況紹介
- NEAR会員自治体との協力を希望

開会式



内容

団体写真



内容

林秉鎮NEAR事務総長 開会の辞



内容

李達姬(イ・ダルヒ)慶尚北道經濟副知事 歡迎の辞



内容

主要来賓祝辞

2023NEAR国際フォーラム-専門家セッション



韓国外交協会
申鳳吉会長



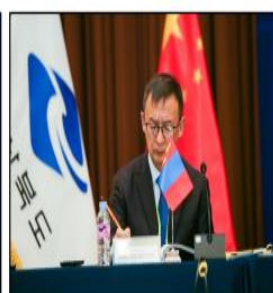
黒竜江省
北東アジア研究所
管志剛研究員



世界国際関係学会
羽場久美子会長



日韓未来フォーラム
李赫代表



モンゴル国立大学
ジャミヤン・バトウール
学科長



モスクワ国立国際関係大学
ルキン・アレクサンドル
研究センター長



内モンゴル財経大学
李瑞峰主任教授



光云大学国際学部
シン・ボンソプ招聘教授
(元駐瀋陽総領事)



韓国北東アジア学会
キム・ヒョンス会長



トムスク州立大学
ダンコフ・アルチョム教授

第14回経済・人文交流文化委員会-特別講演セッション



－ 韓国の青年政策と青年国際交流 －
＜韓国青少年政策研究院
キム・キホン青少年政策研究室長＞



－ 持続可能な発展政策及び財源強化のための地域協力 －
＜韓国環境研究院キム・ホソク専任研究委員＞



－ 戦略競争時代、北東アジア産業協力方向 －
＜産業研究院キム・ドンス産業通商研究本部長＞

オンラインZOOM発表

地方政府セッション



－エネルギー・資源・貿易分野における協力強化を通じた北東アジア地域政府間の共同繁栄及び発展の新たな道の模索－
 ＜中国内モンゴル自治区政府研究室**智勇**副主任＞



－新たな機会の共有、新たな発展の共同模索－
 ＜中国吉林省对外友好協会文化交流部**呂大宇**部長＞



－シルクロード・シンフォニー、如意甘肅－
 ＜中国甘肅省文化観光庁国際処**刘曉**処長＞



オンライン
ZOOM発表

－富山県の国際交流－
 ＜日本富山県国際課**久保光希**主事＞



- 대구광역시 교류협력사업 -
 <대구광역시 **정해관** 국제관계대사>



- 근로유학생 제도 소개 -
 <한국 충청북도 **곽태열** 국제관계대사>



- 경북주도 확실한 지방시대 :
 K-U시티 프로젝트 지방 정주시대 대전환 -
 <한국 경상북도 **채진원** 국제관계대사>



- 경북 포항 이차전지산업 육성계획 -
 <한국 경상북도 포항시 배터리첨단산업과 **정명숙** 과장>



- 海陸複合運送を活用した北東アジア地域の経済協力:
 NEARと会員自治体の役割 -
 <韓中經濟社会研究所 **姜昊求(カン・ホグ)** 所長>



-ボルガン県の対外交流現況 -
 <モンゴル ボルガン県局長**アルタンシャガ**局長>

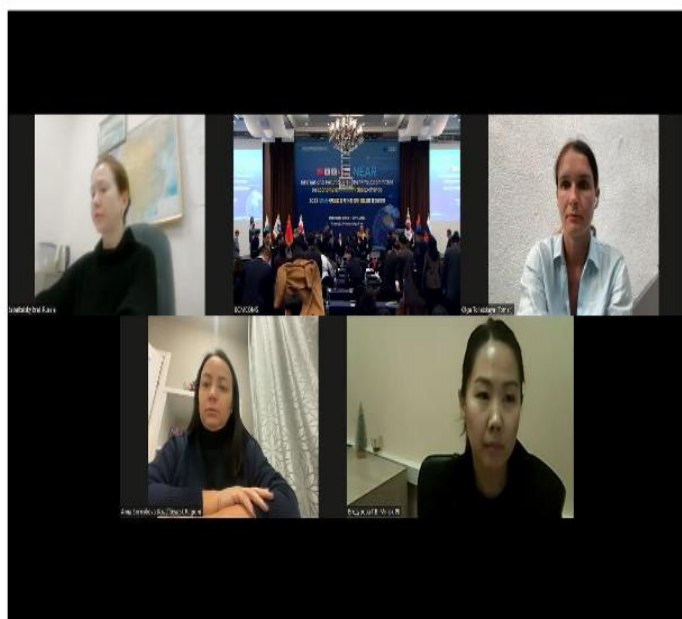


-セレンゲ県の協力可能な分野-
 <モンゴル セレンゲ県**ウルジ・ソブタ**局長>



-イルクーツク州の投資潜在力-
 <イルクーツク州經濟開發産業部
バシリエバ・スヴェトラナ次官>

オンライン会議



Zoom Meeting運営
(日・蒙・露オンライン参加)



Tencent Meeting
運営（中国オンライン参加）

現地視察



午餐会及び晩餐会



施設及び冊子

